

# 未来への約束

1960

1990

2020

2023

2050

積水ハウスグループは、1960年の創業以来、それぞれの時代に生じる社会課題に対し、事業活動を通じてその解決に貢献してきました。

「わが家」を世界一幸せな場所にする」というグローバルビジョンは未来への約束であり、その実現に向け、さらなる社会価値の創造と企業価値の向上を実現していきます。

積水ハウスのグローバルビジョン  
「わが家」を世界一幸せな場所にする



安全・安心・快適性

資産価値の創出

住宅の長寿命化

住宅は重要な社会資本の一つだからこそ、長期にわたり住み継がれていく良質な住宅を、次世代へ受け継いでいきます。



脱炭素化

生物多様性保全

資源循環

地域社会との共生

労働安全衛生・サプライチェーン

環境負荷低減や再生可能エネルギー活用、地域との共創を通じて、より幸せに暮らしつづけられる未来を切り拓きます。



ダイバーシティ推進

従業員の幸せ・健康

多様な働き方・働きがい・人財育成・キャリア自律

誰もが安心して自己実現や成長の機会を見つけ、特性や能力を活かしながら、活躍できる環境を築いていきます。



マテリアリティ

## 未来への約束

### サステナビリティの基本方針

積水ハウスグループは、これまで「住」を基軸にさまざまな事業活動を展開してきました。2020年からは、「わが家」を世界一幸せな場所にする”というグローバルビジョンのもと、事業活動を通じてお客様や社会を取り巻く課題の解決へ貢献し、持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指しています。

### 受け継がれるESG経営

積水ハウスグループにとって、社会へ貢献する新たな価値を創造することは、企業理念の根本哲学である「人間愛」の実践そのものです。

「人間愛」とは、「人間は夫々かけがえのない貴重な存在であると云う認識の下に、相手の幸せを願いその喜びを我が喜びとする奉仕の心を以って何事も誠実に実践する」ことであり、3つの意味が込められています。

1つ目は「企業は人の集団である」ことから、一人ひとりが「人間愛」を実践すれば、全員参加の活力ある経営が実現し、企業の持続的な成長への原動力となるということ。2つ目は「お客様の幸せを願う心を持ってその所望に叶った商品を創造提供」することで、お客様満足を実現するとともに、企業の信用向上に寄与すること。そして、3つ目は、商品の開発や環境の創造、新規事業の選択などにおいて「常にお客様の役に立つものか、あるいは社会に貢献できるものかを目指す」こと。

これらの思いが込められた企業理念の根本哲学である「人間愛」は、常に世の中に先駆けて住まいのあり方に対する価値観や人々のライフ

スタイルを変革し、社会課題の解決に貢献してきた当社グループの事業活動そのものです。社会全体の発展に貢献するという創業時の精神は、時代が変化しても変わることなく受け継がれ、現在ではESG経営として実践されています。

### 積水ハウスグループのESG経営の考え方

積水ハウスグループのESG経営は、企業理念の根本哲学である「人間愛」を実践することです。お客様や社会の幸せを願い、行動を起こす気持ち。働く職場を「わが家」のように思い、職場の仲間や家族の幸せのために協力し合う気持ち。この人としての根源がESGであり、その実践に努めることで、未来を見据えたイノベーションを起こし、新たな価値を創造し続けることができると考えています。

これらにもとづき、「ESGの中に企業がある」という考え方を取り入れています。これは、ESGを、企業としてのあり方を超えた、人間としてのあり方として捉え、収益基準のみで事業活動を評価するのではなく、お客様・社会・従業員へ幸せをもたらすのかという基準で継続的に評価しています。また、ESGの観点から事業戦略の策定や意思決定を行い、ESGの価値が高まれば、企業価値も高まると考えています。



### ESG経営の目指す姿 —新しいESGの価値をつくる—

積水ハウスグループは、1960年の創業以来変わることなく、お客様や社会が直面する課題解決を事業活動と一体的に推進することで、社会への価値を創造し、持続的な成長を実現してきました。一方で、環境問題や災害の激化、少子高齢化や都市部への人口集中、貧困の連鎖など、グローバルで生じているさまざまな深刻な課題があります。

グローバルビジョンを実現するためには、これらの課題にどのように取り組み、どのように社会を良くしていくのか、ということを考え、前例のないイノベーションを起こし続けていく必要があります。つまり、社会や環境に対しポジティブなインパクトを追い求めることで、新たなESGの価値を創造することが、当社グループの目指すESG経営です。

### 全従業員参画型ESG経営

新たな価値創造の主役となるのは、従業員です。一人ひとりが、お客様や社会、働く仲間に対しどのような価値を生み出すことができるのかということを自発的に考え、行動に移すことができれば、それがお客様や社会、従業員の幸せにつながるという考えのもと、全従業員参画を重視したESG経営を推進しています。

ESGを業務として捉えるのではなく、自分事として考え、自ら実践することで、世界をリードする事業活動を推進し、新たなESGの価値を創造し続けていきます。

→ P.92 ESG経営